千葉県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会議事録

- 1 日時 平成 28 年 8 月 8 日（月） 午後 7 時 0 分～午後 7 時 20 分
- 2 場所 千葉県総合保健医療センター 4 階 会議室
- 3 出席者 （委員）
伊藤康平委員、高山功一委員、入江康文委員、高田啓一委員、竹田賢委員、新見將泰委員、
金親肇委員、西島浩委員、日比野久美子委員（委員定数 11 名中 9 名出席）
（事務局）
鳩川高齢障害部長、柏原障害者自立支援課長、若林障害者自立支援課長補佐、
障害者自立支援課職員
- 4 議題
 - （1）分科会長の選出について
 - （2）分科会長職務代理の選出について
 - （3）本市における障害者差別解消法施行への対応状況
- 5 議事の概要
 - （1）分科会長の選出について
委員の互選により、入江康文委員が分科会長に選任された。
 - （2）分科会長職務代理の選出について
分科会長の指名により、高田啓一委員が分科会長職務代理に選任された。
 - （3）本市における障害者差別解消法施行への対応状況
資料に基づき事務局から説明を行った。
- 6 会議経過 別添のとおり

午後 7 時 0 分開会

○若林障害者自立支援課課長補佐 定刻となりましたので、ただ今より、千葉市社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会を始めさせていただきます。

私は、本日進行を務めさせていただきます、障害者自立支援課課長補佐の若林です。よろしくお願いいたします。

それでは、会議に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

はじめに、次第、委員名簿、席次表。次に、資料 1 として「本市における障害者差別解消法施行への対応状況」、参考 1 として「千葉市市長部局、消防局、病院局、行政委員会及び議会事務局における障害を理由とする差別の解消の推進に係る対応要領」、参考 2 として「障害を理由とする差別の解消に関する対応要領について」。なお、根拠法令等をまとめた参考資料とメモ用紙を配付しております。不足等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、会議開催にあたりまして、高齢障害部長鳩川より、ご挨拶申し上げます。

○鳩川高齢障害部長 皆さま、こんばんは。高齢障害部の鳩川です。

本日はお忙しい中、千葉市社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、皆様方におかれましては、日頃から、本市障害福祉行政に格別なご協力をいただいておりますこと、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

本分科会では、社会福祉法に規定されております社会福祉審議会の専門機関として、身体障害者福祉に関する事項を調査・審議していただいております。

この度、任期満了に伴う一斉改選により、委員の皆様には今後 3 年間、専門分科会委員として、お力添えを賜りますようお願いいたします。

本日は、本分科会の分科会長及び分科会長職務代理をご選任いただくとともに、本年 4 月から施行された障害者差別解消法について説明をさせていただきます。

委員の皆様には、各分野において専門的なご意見をいただきながら、本市の施策に反映して参りたいと考えております、本日はよろしくお願いいたします。

○若林障害者自立支援課課長補佐 さて、本日は委員の改選後、初めての会議でございますので、ここで私から、委員名簿の順に、分科会委員の皆様をご紹介します。

[委員紹介]

金子充人委員と、小関秀旭委員でございますが、本日、欠席と連絡をいただいております。

続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。

[事務局職員紹介]

本日の分科会でございますが、委員 11 名のうち、9 名のご出席をいただいておりますので、千葉市社会福祉審議会条例第 6 条第 3 項に基づき、会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

なお、本日の会議は、千葉市情報公開条例第 25 条に基づき公開となります。議事内容につきましても、事務局が議事録を作成し、ホームページ等で公開いたしますので、ご了承お願いいたします。

それでは、これより議事に入らせていただきます。お手元の次第をご覧くださいと存じます。

議題の (1)、分科会長の選出についてですが、議事の進行につきましては、分科会長が行うこととなっておりますが、分科会長が選出されるまでの間、鳩川高齢障害部長を、仮議長として進行したいと存じますが、よろしいでしょうか。

[委員より「異議なし」の声あり]

○若林障害者自立支援課課長補佐 ご異議がないようですので、鳩川部長を仮議長として議事を進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

○鳩川高齢障害部長 それでは、分科会長が選出されるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。分科会長の選出につきましては、千葉市社会福祉審議会運営要綱第2条第2項の規定により、委員の互選で定めることとなっておりますが、委員の皆様からご意見はございませんでしょうか。はい、高田委員。

○高田委員 はい、高田です。分科会長には、医師会長としても、大変ご尽力いただいております、実績や経験が豊富であります、入江委員にお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

[委員より「異議なし」の声あり]

○鳩川高齢障害部長 ただいま、入江委員を推選する旨のご提案がございました。もうすでにご承認ということでございます。それではご異議がないということで、分科会長を入江委員にお願いいたします。分科会長席にお移りいただきまして、就任のご挨拶をお願いいたします。その後、議事の進行をお願いいたします。

○入江分科会長 入江でございます。ただいま、高田委員から過分なお言葉をいただきまして感謝いたします。引き続きまして、分科会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。座らせていただきます。それでは早速、次第に沿って進めさせていただきます。

議題の(2)、分科会長職務代理の選出についてですが、千葉市社会福祉審議会運営要綱第2条第4項の規定により、職務代理は分科会長が指名することとなっております。

私から推薦をさせていただきます。従来も、分科会の職務代理を務めていただきました高田委員に、その職をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

[委員より「異議なし」の声あり]

○入江分科会長 それでは、異議なしとのことですので、高田委員に本分科会の職務代理をお願いいたします。

それでは、高田委員には、席をお移りいただき、就任のご挨拶をお願いいたします。

○高田分科会長職務代理 ただいま、入江分科会長からのご指名によりまして、職務代理を仰せつかりました高田でございます。

委員の皆様方のご協力を賜りながら、入江分科会長を補佐し、会議の円滑な運営に向け、職責を全うしたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○入江分科会長 ありがとうございます。それでは、次に、議題の(3)、本市における障害者差別解消法施行への対応状況について事務局から説明をお願いします。

○柏原障害者自立支援課長 はい、障害者自立支援課長の柏原でございます。議題(3)、本市における障害者差別解消法施行への対応状況について、説明をさせていただきます。座って、説明させていただきます。

まず、平成28年4月に施行されました「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、障害者差別解消法の概要について説明いたします。お手元の資料の参考2の3ページをお開きいただきますでしょうか。

障害者基本法の第4条の基本原則として、差別の禁止を規定する改正を、平成23年に行い、この差別の禁止を具体化する法律として、平成25年に障害者差別解消法が成立いたしました。

障害者差別解消法では、2つの大きな囲みがございますように、1として差別を解消するための措置、2として差別を解消するための支援措置が規定されています。

真ん中の図がございますように、国及び地方公共団体等は、不当な取扱いの禁止と合理的配慮の提供は、ともに法的義務となります。この取組みにあたり、国は、政府全体の方針として基本方針を策定し、この基本方針に即して、本市の職員向けの対応要領を策定いたしました。また、2の支援措置として、相談・紛争解決の体制、地域における連携体制などを整備するとともに、啓発等を行っているところです。これらの状況を踏まえて、本市における障害者差別解消法施行への対応状況を説明いたします。

資料1をご覧ください。まず、1、本市職員に係る事項です。(1)、本市の職員向けの対応要領の策定ですが、平成28年4月1日付けで策定いたしました。

なお、本市においては、市長部局、消防局、病院局、行政委員会及び議会事務局を対象に、全庁的に統一した対応要領として策定いたしました。

囲みの中は、対応要領の構成です。大きく7つの項目で構成しています。まず、第1として目的、第2、不当な差別的取扱いについて、第3、合理的配慮について、第4、監督者の責務、第5、懲戒処分等、第6、相談体制の整備、第7、研修・啓発となっております。そして、添付しております、参考1が本市の対応要領になります。

この本市で初めてとなる対応要領の策定にあたりましては、合理的配慮の具体的な事例などについて、障害者団体の皆様への複数回にわたるヒアリングを行い、その意見を反映し、策定いたしました。

資料1にもどっていただきまして、枠の下に記載しています、本市の職員向けの研修と、周知方法についてです。

市職員向けの研修として、所属長研修、新規採用職員研修において、障害者差別解消法の対応要領の策定と合理的配慮の提供について、周知しました。また、市職員向けの周知として、本市では、職員1人1台パソコンが配備されていることから、全庁の職員のネットワーク上の掲示板となる庁内掲示板へ掲載するとともに、各所属長から、職場の職員に対し、口頭で説明のうえ、対応要領と、さきほど障害者差別解消法の概要の説明で使用したリーフレット、こちらには、本市の対応要領に関するポイントも絞って掲載していますが、こちらも供覧する取組みも実施したところです。

今後も、合理的配慮に関する事例を増やし、障害者への配慮が、当然のこととなるよう、庁内に発信し続けて参りたいと考えております。

次に、(2)、本市の業務に係る相談窓口の設置ですが、平成28年4月に障害者自立支援課に開設いたしました。

次に、大きな項目の2、民間事業者等に係る事項です。

(1)、事業種別ごとの企業等における対応指針を踏まえた対応についてですが、主務官庁である厚生労働省や文部科学省などが、所管する事業者に対し、不当な差別的取扱いの禁止、及び合理的配慮の提供に関し、適切に対応するために必要な指針、対応指針を策定しております。

許認可などの権限が政令で委任されている千葉市の所管課を通じて、民間企業等にも助言等を行うことで、障害者差別の解消を、より幅広く達成するよう、努めて参りたいと考えています。

次に(2)、県条例により設置されている「広域専門指導員」との連携による対応についてですが、本市の相談窓口寄せられた、民間事業者の対応で生じた相談等について対応することも考えており、千葉圏域を担当する広域専門指導員の方と連携のうえ、対応しております。

次に、大きな項目の3、協議や情報共有に係る事項です。

(1)、障害者差別解消支援地域協議会の設置です。

この協議会は、差別に関する相談、事例を踏まえた差別を解消するための取組みについて、関係機関が経験や専門知識を持ち寄り、効果的かつ円滑に対応等を検討することを目的とした会議です。

本市では、障害者施策推進協議会の部会として設置いたしました。

次に、(2)、県条例により設置されている紛争処理機関、調整委員会の活用についてです。

(1)で説明いたしました地域協議会には、協議会が自ら調停などを行うことを想定していません。そこで、地域での話し合いによる解決が困難な場合については、千葉県が既に設置している専門の委員会である「障害のある人の相談に関する調整委員会」を活用することといたします。

この調整委員会において、双方の事情や言い分を検証し、調整を図りながら、両者に対して、解決に向けた助言やあっせん案の提示などを行って参りたいと考えております。

最後に、4、広報・啓発です。

(1)、本市のホームページに、障害者差別解消法の施行に係る情報を掲載しております。

なお、本市における相談窓口の連絡先、本市の対応要領などについては、順次、このホームページに掲載しました。今後も、最新情報について、掲載して参りたいと考えております。

次に(2)、市施設へのポスター等の配付ですが、内閣府から送付された「障害者差別解消法の施行」に関するポスターとリーフレットを、一般市民の目に触れやすい、区役所、コミュニティセンター、図書館、文化施設などに配付いたしました。

次に(3)、障害者差別解消に関する講演会の開催です。

平成27年度は、平成28年2月に、障害者虐待防止と障害者差別解消に係る講演会を開催いたしました。平成28年度は、千葉市身体障害者連合会に委託して開催したいと考えております。

最後に(4)、障害者差別解消に関するリーフレットの作成ですが、平成27年度末に、障害者団体の皆さんに、誰を対象にした、どのようなリーフレットが良いか、アンケートをとらせていただきました。概ね、障害者団体の皆さんからは、一般市民向けにとの意見が多い状況でした。

そこで、平成28年度に作成するリーフレットは、一般市民をターゲットとして作成していきたいと考えています。なお、作成業者が決定し、案が出来あがった際には、再度、障害者団体の皆様からの意見等をお聞きして参りたいと考えております。

説明は以上です。

○入江分科会長 ありがとうございます。何かご質問・ご意見ございませんか。

このことについては、千葉市障害者施策推進協議会で詳しくご説明いただいております。

何かご質問はございませんか。なければ、本日の案件を終了といたします。

議事録につきましては、私と事務局にご一任願います。

では、事務局にお返しします

○若林障害者自立支援課長補佐 委員の皆様、ありがとうございます。それでは、以上をもちまして、本日の分科会を閉会させていただきます。

なお、次回の分科会につきましては、今後、ご審議いただく案件が生じた際に、あらためて事務局からお知らせいたしますので、よろしく願いいたします。

本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございました。

また、引き続き、当会議室におきまして、審査部会を開催いたします。審査部会委員を兼任されている皆様方には、大変恐縮ではございますが、5分後、再度ご参集をお願いいたします。

それではよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

午後 7 時 20 分閉会